



◆NEWS◆ 原発事故による避難者等に対する住民意向調査（葛尾村）の結果について（10月16日）

復興庁は10月16日、葛尾村、福島県及び復興庁の共催で行った原子力発電所事故による避難者等に対する住民意向調査の調査結果を発表しました。この調査結果の概要は以下のとおりです。

■調査対象：中学生を除く満15歳以上の約1400人

■調査方法：郵送によるアンケート調査

■実施期間：8月17日（金）から9月3日（月）

■回答者数：1,033人（回答率74.3%）

■調査結果：

○ 現時点での帰還意思については、「まだ判断できない」と答えた方が約3割であるなど、生活再建に向けて未だ悩んでいる住民が一定程度おられます。

また、全般的に、除染含む放射能による被害、原発の安全性、生活用水の汚染を懸念する回答が、上位を占めています。

○ 今般の調査から明らかになった主な課題

1 就労支援

震災前後の有職者（自営業、会社員等）の割合を比較すると、22.7%の減少（65.5%→42.8%）。

そのうち自営業の減少割合が20.9%と大部分を占める（28.6%→7.7%）。

したがって村民の就労支援策としては、自営業の今後の事業再開に向けた取組がポイント。

今後、事業再開を支援するにあたって、除染はもちろんのこと、風評被害の払拭や、長期間使用していない設備・機材の新たな投資などの課題にきめ細かく対応していくことが必要。

2 住宅再建

住民が避難期間中に希望する居住形態としては、現状の借り上げ住宅（26.3%）のほか、持ち家の購入（20.3%）、村内外の災害公営住宅（10.8%）が一定の割合を占めます。

また、帰還に向けて望む支援として「住宅再建」と回答した住民も約半数。

今後、財物賠償の早期支払いを含め、住民の住宅再建に向けた支援を検討していくことが必要。

3 生活関連サービスの再開

村への帰還に向けて最も必要なものの回答として、医療機関（38.9%）、商業施設（19.4%）、介護・福祉施設（11.1%）が上位を占めます。

今後、帰還に向けて、除染やインフラ復旧はもちろんですが、これら生活利便施設の復旧や確保も重要な要素。

今後、復興計画の実施にあたり重視していくことが必要。

今回の調査結果を踏まえた課題への対応について、葛尾村や関係省庁等と連携しながら、具体化に努めていきます。

詳しくは復興庁のホームページをご覧ください。

http://www.reconstruction.go.jp/topics/20121016_sokuhou_katurao.pdf

◆NEWS◆ 11月3日から六巡目の一時立入りを予定!! (10月16日)

六巡目の一時立入りは、11月3日(土・祝)から開始する予定です。

六巡目においても、五巡目の時と同様に、立入りを希望される方が立入り日の調整などの手続きをより円滑にできるよう、専用のコールセンターで受け付けを行います。

一時立入りのスケジュールや受付状況は、専用のホームページで確認ができます。

■六巡目の一時立入りスケジュール(予定)

- ・11月3日(土・祝)から12月18日(火)

■一時立入り受付コールセンター情報

- ・受付開始：10月19日(金)午前8時から受け付けを開始
- ・受付時間：午前8時～午後9時(祝・休日を含む毎日)
- ・電話番号：0120-234-530(フリーダイヤル)
- ・対象町：4町(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町)
- ・ホームページ：<http://ichijitachiiri.com>

■中継基地情報

六巡目からは、これまで使用していた南側の中継基地が「道の駅ならば」から「毛萱・波倉スクリーニング場」に変更となります。

(所在地)

福島県富岡町大字毛萱字前川原232-16

(福島第二原子力発電所に隣接する駐車場)

■五巡目の一時立入りの結果

- ・実施期間：8月25日から10月13日
- ・世帯数：11,005世帯
- ・人数：27,087人

◆NEWS◆ 食品中の放射性物質について、よりよく理解していただくための広報を実施しています!!

<第2弾：放射性物質と健康影響>(10月15日)

消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省は、小売関係事業者のご協力を賜り、消費者が食品を購入する場等において、食品中の放射性物質について、よりよく理解していただくための広報を実施しています。

これは、9月中旬から12月中旬(予定)の間、「食べものと放射性物質のはなし」と題して、各省庁で作成したポスターを、ご協力いただける店舗などに掲示するほか、消費者にリーフレットを配布して、食品中の放射性物質についての現状や対策についての情報を提供するものです。

この広報活動の概要は以下のとおりです。

■目的

食品の放射性物質に関する国・自治体や生産現場における対策状況や、食品に含まれる放射性物質が極めてわずかであることなどを、直接消費者に情報提供することで、正しい理解と不安の解消を図ることを目的としています。

■期間

平成24年9月中旬から12月中旬(予定)

■実施内容

- 9月中旬頃：基準値の設定・検査体制及び公表について
- 10月中旬頃：食品からの被ばく量の大きさやその安全性について
- 11月中旬頃：放射性物質を低減するための生産現場の取組について

■今月の広報（情報提供）

内閣府食品安全委員会は、原子力発電所事故後に増えた食べものの中の放射性物質と、大昔から食べられてきた食べものの中に含まれている自然放射性物質を、視覚的にわかりやすくお皿の面積で比べ、どのくらい増えたのかをお伝えします。また、もっと知りたい人のために、「大昔から食べてきた食べものの中に含まれる「自然放射性物質」って、どんな食べものに入っているの？」などの質問に、わかりやすい図表などを交えながらご紹介します。

詳しくは、内閣府食品安全委員会のホームページをご覧ください。

http://www.fsc.go.jp/sonota/hanashi/radioact_food_h2.html

◆NEWS◆ 旧緊急時避難準備区域および避難指示解除準備区域における河川、水源地のモニタリング結果を公表（10月11日）

政府は10月11日、旧緊急時避難準備区域5市町村（南相馬市、田村市、川内村、広野町、楡葉町）及び避難指示解除準備区域3市村（南相馬市、田村市、川内村）の河川、水源地のモニタリング結果を公表しました。

このモニタリングは、昨年9月に解除された緊急時避難準備区域5市町村の復旧を支援するとともに、今年4月の区域見直しにより新たに設定された避難指示解除準備区域3市村への帰還支援の一環として実施しています。

■調査概要

旧緊急時避難準備区域5市町村、避難指示解除準備区域3市村及びそれらの上流の河川等の水質及び底質における放射性物質等の濃度の測定を実施

■調査時期（本調査は、2ヶ月に1回の頻度で実施）

平成24年7～9月

■調査地点

<河川23地点>

真野川：（南相馬市）落合橋、真島橋

新田川：（飯館村）草野、小宮

（南相馬市）木戸内橋、鮭川橋

太田川：（南相馬市）石渡戸橋、上ノ内橋、益田橋、JR鉄道橋、丸山橋

小高川：（南相馬市）下川原橋、善丁橋、ハツカラ橋

古道川：（田村市）高瀬川合流前（都路町古道下平）

富岡川：（川内村）鍋倉橋、境川橋

井出川：（楡葉町）本釜橋

川内川：（川内村）木戸川合流前（二股橋）

木戸川：（川内村）西山橋

（楡葉町）長瀬橋、木戸川橋

浅見川：（広野町）坊田橋

<水源地12地点>

真野ダム（飯館村、真野川水系）

高の倉ダム貯水池（南相馬市、新田川水系）

岩部ダム貯水池（南相馬市、新田川水系）

横川ダム貯水池（南相馬市、太田川水系）

古道川発電所ダム（田村市、高瀬川水系（請戸川支流））

木戸ダム（楡葉町、木戸川水系）

太良谷地（南相馬市、農業用ため池）

龍ヶ迫（南相馬市、農業用ため池）

明婦迫2号（南相馬市、農業用ため池）

上繁岡第1（楡葉町、農業用ため池）

下繁岡（楡葉町、農業用ため池）

大堤（楡葉町、農業用ため池）

■調査結果

1) 水質

放射性ヨウ素は全地点で不検出※でした。

【※検出下限値は、1ベクレル/リットル】

放射性セシウムは以下のとおり。

- ・セシウム134 不検出※～2ベクレル/リットル
- ・セシウム137 不検出※～3ベクレル/リットル

【※検出下限値は、1ベクレル/リットル】

2) 底質

放射性ヨウ素は全地点で不検出※でした。

【※検出下限値は、30又は130ベクレル/キログラム】

放射性セシウムは以下のとおり。

- ・セシウム134 22～29, 000ベクレル/キログラム(乾泥)
- ・セシウム137 32～48, 000ベクレル/キログラム(乾泥)

3) 土壌

放射性ヨウ素は全地点で不検出※でした。

【※検出下限値は、30又は58ベクレル/キログラム】

放射性セシウムは以下のとおり。

- ・セシウム134 12～20, 000ベクレル/キログラム(乾)
- ・セシウム137 22～32, 000ベクレル/キログラム(乾)

4) 調査地点の空間線量率

毎時0.10～5.08マイクロシーベルトでした。

詳しくは環境省のホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15810>

=====
☆☆「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内☆☆

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#info_fureai_letter
=====

[発行：政府原子力被災者生活支援チーム]